

## 2014（平成26）年度 施策評価の取組について

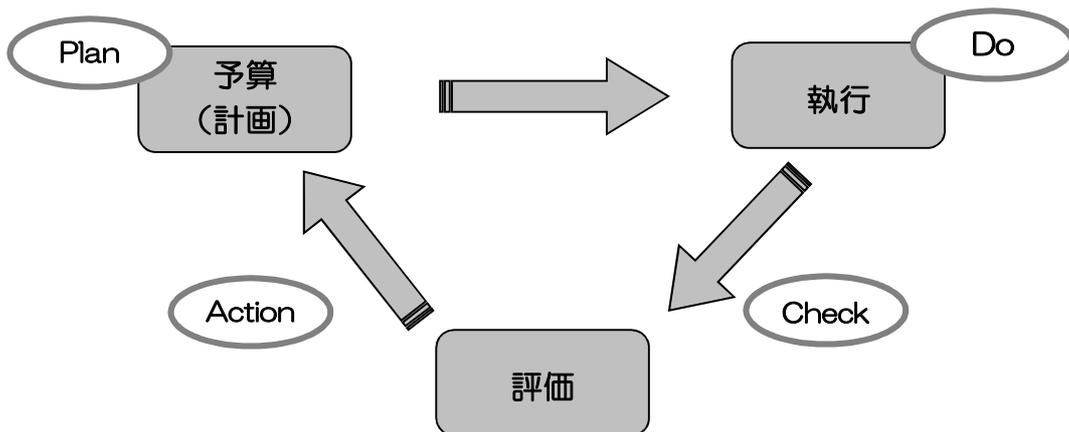
### 1. 行政評価（施策評価・事務事業評価）の取組

#### （1）評価の位置付け

行政評価（施策評価・事務事業評価）は、行政が実施している政策、施策や事務事業について、有効性・効率性・必要性等の観点から行政自らが市民の視点に立って点検や評価を行い、その結果を次の企画立案に生かすことによって、政策の質的向上を図っていくための取組です。

名張市では、自治基本条例第25条において「市は、効果的で効率的な市政運営と総合計画の進行管理を行うため、行政評価を実施し、その結果を施策の見直し、組織の改善等に速やかに反映しなければならない。」と規定し、行財政マネジメントシステムの一環として取り組んでいます。

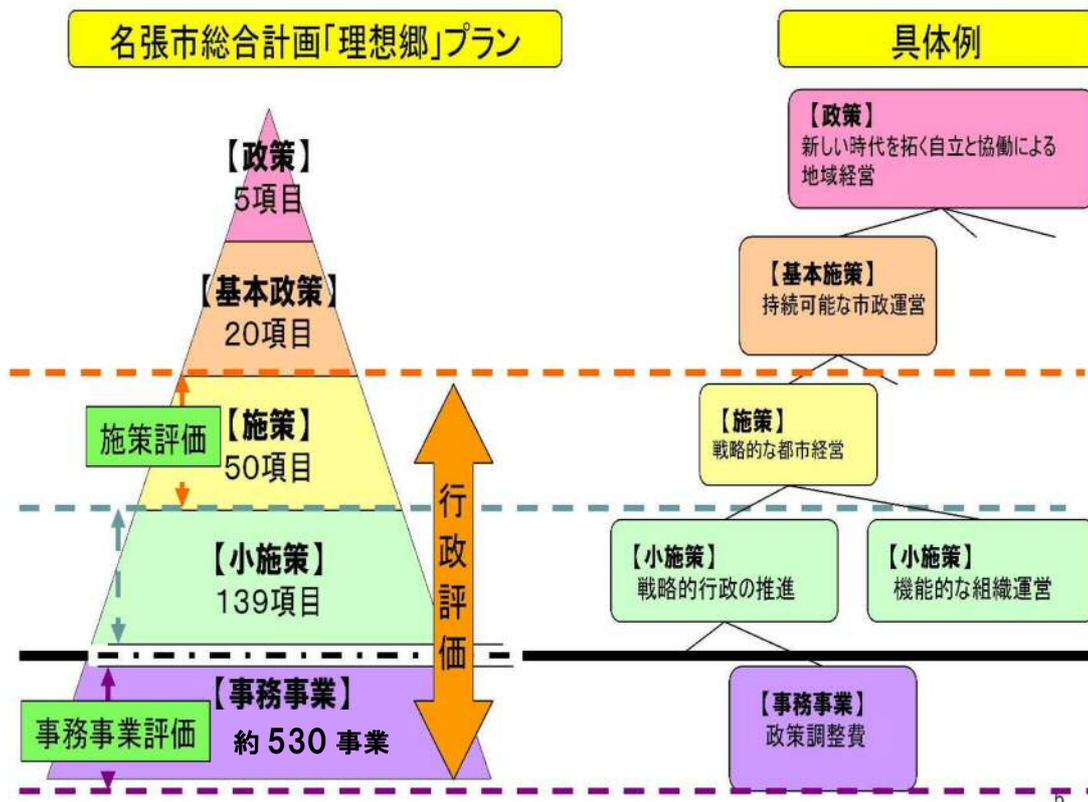
具体的には、実施した事業、施策について、「評価（Check）」を行うことで、計画の達成度、効率性などの客観的な評価の結果を次の予算に「反映・改善（Action）」することで、総合計画「理想郷プラン」の実現に向けた効果的、効率的な行政運営を進めようとするものです。



#### （2）評価の実施方針

名張市では、総合計画に定める施策目標を実現するための施策段階を「施策評価」、また、この施策目標の実現手段である個別具体の事務・事業の有効性、効率性を評価する「事務事業評価」の2段階の評価を行政評価として実施しています。

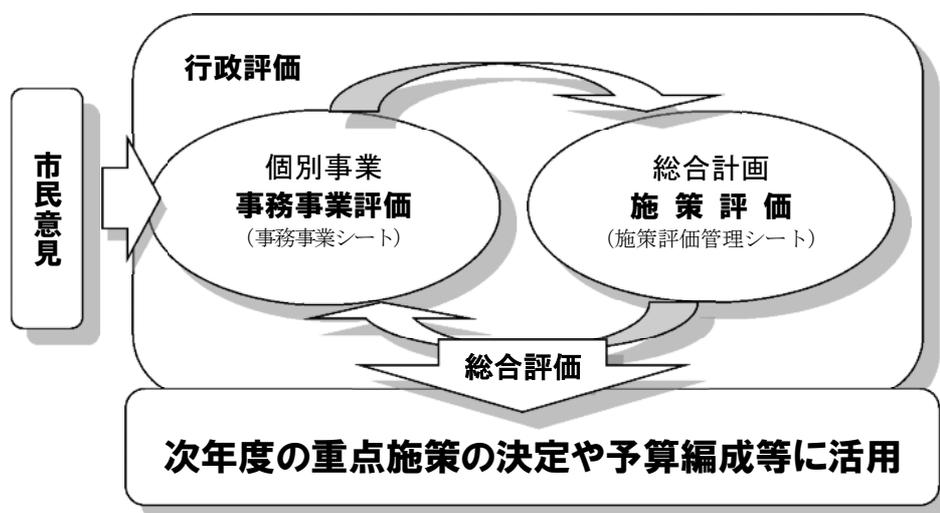
この「施策評価」及び「事務事業評価」は、所管部局における目的・手段の妥当性や事業の効果・効率性、取組結果等についての自己評価を基本としています。総合計画に掲げる施策と事務事業のあり方、有効性等について検証を行い、より効果・効率的な施策の推進や改善に向けた取組を進めることとしています。



### (3) 評価の流れ

「事務事業評価」は、個別の事務事業を対象に、事業推進に向けての課題をはじめ、取組結果の評価、今後の方向性等について検討し、「施策評価」は、総合計画の50の施策を対象に、施策目標として位置付けている指標に対する達成度、達成のための事務事業の進捗状況、方向性等を踏まえ、達成度や進捗状況などを評価します。

「事務事業評価」及び「施策評価」は、担当部局・室での自己評価として実施しており、評価者の主観的要素が表れる傾向にあることから、評価の客観性や透明性を高めるため、平成24年度より行政評価委員会による「総合評価」を実施しています。



＜事務事業評価（事務事業シート）＞

-作成目的-

- (1) 事務事業の推進（点検・評価）のための資料として活用
- (2) 総合計画の推進（施策評価）及び予算編成に活用
- (3) 市民の皆さんとの情報共有
- (4) 職員が目的意識をもって業務を遂行するツールとして活用

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(平成26年6月作成)

事務事業名	行政改革推進事業	会計区分	一般会計	事業コード	021101
担当部署	企画財政課	事務コード	行政改革推進事業	行政改革推進事業	
担当職員	局長 和定	経理	経理管理課	経理管理課	
担当職員	行政改革推進室	経理	行政改革推進室	行政改革推進室	

1. 事務事業の位置付け

2. 事務事業の概要

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

4. 担当による事務事業の進捗

5. 今後の方向性(担当による内容把握)

＜施策評価（施策評価管理シート）＞

施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

担当部署名	部長名	連絡先(担当部署)
健康福祉部	若生 尚郎	63-7379 (健康福祉政策課)

1. 施策の基本方針 **Plan**

2. 目標

3. 取組内容

4. 施策評価

施策目標(目標)の内容(単位)	現状値(H20)	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	進捗率
健康福祉サービスにかかると市の情報提供や相談体制を評価した見守り市民の割合(%)	目標	-	-	-	55.0	82.0
ボウテニア登録人数(人)	目標	62.7	69.4	61.4	61.9	100%
ボウテニアコーディネーター養成数【監修】(人)	目標	2,599	2,439	3,332	3,371	100%
まちの保健室における相談件数【監修】(件)	目標	4	-	5	6	29%
コミュニケーションアドバイザー【監修】(人)	目標	16,736	55,750	75,985	93,478	43%
	目標	48	56	56	56	29%

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 14 事業) **Do Check**

事務事業コード	事業名・担当部署	事業費(千円)	地域等との連携・協働	地域等との連携・協働	地域等との連携・協働	地域等との連携・協働	地域等との連携・協働	地域等との連携・協働
1014	地域ささえあい事業	3,820	A	B	A	B	A	B
1194	災害時避難者支援事業	100	A	B	A	B	A	B
011	連携自治会助成金	191	A	B	A	B	A	B
3013	社会福祉協議会運営補助金	6,771	A	B	A	B	A	B
3016	地域福祉推進事業補助金	32,400	A	B	A	B	A	B
3018	避難者等非常生活支援事業	2,995	A	B	A	B	A	B
3101	地域移動支援活動補助金	0	A	B	A	B	A	B
4105	地域福祉活動拠点施設整備事業	13,339	A	B	A	B	A	B
5005	総合福祉センター費	46,500	A	B	A	B	A	B
6051	社会福祉施設一般経費	9,333	A	B	A	B	A	B
6052	社会福祉統計調査事業	0	A	B	A	B	A	B
6053	民生委員・児童委員活動費	5,429	A	B	A	B	A	B
8002	民生委員児童委員協議会連合会事務補助費	0	A	B	A	B	A	B
合計(単位:千円)		75,179						
小計(うち、一般会計)		75,179						
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計)		0						

5. 取組内容

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

7. 総合評価

施策に関係する「事務事業」の評価結果を関連付け

「部局による成果や評価」とともに、「今後の方向性や改善方法」を記載

## 2. 施策評価の実施

### (1) 施策評価の視点

#### ①成果志向の行政運営の実現

施策毎に指標及び計画年度における目標値を設定し、各施策がどのような成果を目指しているかを分かりやすく示します。

施策指標の現状値やこれまでの推移（実績値）を目標値と比較することで、「施策が目的どおりの成果をあげているのか」、「手段としての事業の構成や優先順位が適切であるか」などを把握し、施策の進捗状況を評価します。

#### ②説明責任の確保

施策及び施策実現のために実施する事務事業について、各指標の達成状況や見直し・改善策、施策達成に向けた推進状況等を市民の皆さんに公表することで、市政の透明性を図っています。

### (2) 各部局による自己評価

総合計画の50の施策項目ごとに、目標として位置付ける指標に対する達成度、達成のための事務事業の進捗状況・方向性等を踏まえ、主担当部局が関係部局と協議の上、総合的に達成度・進捗状況などを評価します。

政 策	施 策
互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし	○人権尊重 ○男女共同参画社会
	○地域づくり ○市民公益活動 ○コミュニティの元気づくり
	○健康福祉ネットワーク
	○健康づくり ○地域医療
	○高齢者福祉 ○障害者福祉 ○子育て・子ども支援 ○社会保障 ○雇用
美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし	○環境保全 ○自然環境
	○省資源・省エネルギー ○ごみの減量化とリサイクル ○廃棄物処理
	○農村環境整備 ○森林環境整備
人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし	○土地利用 ○都市環境 ○市街地整備 ○水と緑のまちづくり
	○防災 ○消防・救急 ○防犯
	○下水道等 ○上水道 ○住宅・住環境 ○斎場・墓地
	○交通対策 ○道路整備
	○都市産業 ○観光
心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし	○学校教育 ○青少年健全育成
	○生涯学習 ○生涯スポーツ
	○市民文化 ○文化資源 ○文化交流
新しい時代を拓く自立と協働による地域経営	○地域自治 ○開かれた市政
	○質の高いサービス ○地域情報化
	○戦略的な都市経営 ○効果・効率的な市政 ○持続可能な財政運営
	○広域連携



<将来都市像の実現>

豊かな自然と文化に包まれ、誰もがいきいきと輝いて、幸せに暮らすまち

### (3) 施策の総合評価の実施

#### ①行政評価委員会による部局別ヒアリングの実施

施策評価の実効性と客観性を確保し、着実な施策推進に向けた共通認識と横断的な取組を推進するため、行政評価委員会（委員長：副市長）による部局別ヒアリングを実施しました。

（実施日：平成26年7月22日・24日）

#### ②総合評価の実施

各部局による自己評価をもとに、総合的な観点（①施策指標の達成状況、②課題解決への取組、③地域等との連携・協働に向けた取組、④施策の方向性や改善方法、⑤施策推進の方向）から施策に係る総合評価を実施しました。

（実施日：平成26年8月6日）

#### ③評価結果の活用

「評価（Check）」から「反映・改善（Action）」に生かすことで、市民サービスの更なる向上を図るなど、効果・効率的な行財政運営を進めるとともに、次年度以降の事業展開など予算編成に向けた取組に活用します。

### (4) 施策指標の達成状況及び総合評価結果からみた施策の進捗状況の評価

計画期間の6年間で施策指標の達成を実現するためには、1年間で平均して16.6%の進捗を図る必要があります。2013（平成25）年度は、総合計画（後期基本計画）の4年目となるため、進捗率が66%を超えていれば、概ね計画どおり事業が進められているといえます。

進捗率の分布をみると、施策指標総数208指標のうち進捗率が66%を超えるものは105指標（50.5%）あり、そのうち既に100%に達したものが70指標（33.7%）あります。その一方で、進捗率が50%に満たないものが103指標（49.5%）あります。

次に、施策別（50施策）の進捗状況をみると、施策に掲げる全ての指標が進捗率66%を超えているものは、「廃棄物処理」、「土地利用」、「防災」、「防犯」、「斎場・墓地」の5施策（10%）であり、全ての指標が進捗率66%に満たないものは「市民公益活動」、「水と緑のまちづくり」、「都市産業」、「生涯スポーツ」、「文化資源」の5施策（10%）となっています。

また、総合評価の結果をみると、B評価（施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている）の施策が40施策（80%）、C評価（施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる）の施策が10施策（20%）となり、A評価（施策達成に向けた取組や今後の施策展開などが大変評価できる）及びD評価（施策達成に向けた取組や今後の施策展開が不十分であり、改善の余地を多く残している）の施策はありませんでした。

課題や改善の余地が見受けられるものの、進捗率66%を超えている指標が50%と半数であり、また、B評価の施策が8割であることなどから、概ね順調に施策展開が図られていると評価しています。

<施策指標の進捗率の分布状況及び総合評価結果について>

【2013(平成25)年度実績】

政策	施策名	施策 指標数	進捗率の分布状況							総合 評価	施策 コード		
			0%	1~16%	~33%	~50%	~66%	~83%	~99%			100%	
1 健康で 安心で できる 暮らし	1. 人権尊重	6		1		1			2	2	B	111	
	2. 男女共同参画社会	4	1					1		2	C	112	
	1. 地域づくり	3	1	1						1	C	121	
	2. 市民公益活動	2	1		1						C	122	
	3. コミュニティの元気づくり	3	1					1		1	B	123	
	1. 健康福祉ネットワーク	5			1	1	1			2	B	131	
	1. 健康づくり	6	1	1	1	1		1	1		B	141	
	2. 地域医療	4			1	1			1	1	B	142	
	1. 高齢者福祉	5	2				1			2	B	151	
	2. 障害者福祉	5			1	1	1		1	1	B	152	
	3. 子育て・子ども支援	8	3				1	3	1		B	153	
	4. 社会保障	5	2							3	B	154	
	5. 雇用	5	1			2				2	B	155	
	2 潤い ある 暮らし	1. 環境保全	4	2						1	1	B	211
		2. 自然環境	3	2					1			C	212
1. 省資源・省エネルギー		4	3							1	C	221	
2. ごみの減量化とリサイクル		5		1		1	1			2	B	222	
3. 廃棄物処理		2						1		1	B	223	
1. 農村環境整備		4	2							2	B	231	
2. 森林環境整備		3					1	1		1	B	232	
3 安全 で 快適 な 暮らし	1. 土地利用	2						1	1		B	311	
	2. 都市環境	3			1			1		1	B	312	
	3. 市街地整備	4	1			1		1		1	B	313	
	4. 水と緑のまちづくり	4	1			2	1				C	314	
	1. 防災	4						1	1	2	B	321	
	2. 消防・救急	5		1		2				2	B	322	
	3. 防犯	4						1		3	B	323	
	1. 下水道等	7		1	2		2	1		1	B	331	
	2. 上水道	4		1				1		2	B	332	
	3. 住宅・住環境	3	1					1		1	B	333	
	4. 斎場・墓地	2						2			B	334	
	1. 交通対策	4				1				3	B	341	
	2. 道路整備	3			1		1			1	B	342	
	1. 都市産業	6	5				1				C	351	
2. 観光	5	2							3	B	352		
4 文化 と 豊 か な 教育 と	1. 学校教育	5			1	1				3	B	411	
	2. 青少年健全育成	4			1					3	B	412	
	1. 生涯学習	7	1	1		1	1	2		1	B	421	
	2. 生涯スポーツ	3	1	1		1					C	422	
	1. 市民文化	3					2	1			B	431	
	2. 文化資源	3	2		1						C	432	
3. 文化交流	2	1							1	C	433		
5 に 拓 く 新 し い 地 域 と 時 代 を 協 働 で	1. 地域自治	5	1	1	1				1	1	B	511	
	2. 開かれた市政	5	1					2		2	B	512	
	1. 質の高いサービス	7	1			1				5	B	521	
	2. 地域情報化	3			1			1		1	B	522	
	1. 戦略的な都市経営	3				1	1			1	B	531	
	2. 効果・効率的な市政	4				1				3	B	532	
	3. 持続可能な財政運営	3				1				2	B	533	
	1. 広域連携	5	1			1	1			2	B	541	
		208	41	10	14	22	16	26	9	70			

※進捗率とは

後期基本計画に位置付ける施策指標（目標値）に対し、当該年度（実績値）が基本計画策定時（現状値）からどれだけ伸びているか（減っているか）指標の進み具合を数値化します。

<計算式>

$$\frac{\text{実績値（2012（平成25）年度）} - \text{現状値（2008（平成20）年度）}}{\text{目標値（2015（平成27）年度）} - \text{現状値（2008（平成20）年度）}} \times 100$$

※総合評価の評価区分と評価内容

評価	評価内容
A	施策達成に向けた取組や今後の施策展開などが大変評価できる
B	施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
C	施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
D	施策達成に向けた取組や今後の施策展開が不十分であり、改善の余地を多く残している

<C評価の施策への行政評価委員会からの意見>

施策コード・施策名	施策担当部	意見内容
112 男女共同参画社会	生活環境部	固定的性別役割分担意識の更なる解消に向け、企業や地域づくり組織等への出前トーク実施や勉強会開催などの積極的な取組と、方針決定過程への女性の参画拡充の啓発に努める必要がある。
121 地域づくり	地域部	今後の施策展開や課題解決に向けた検証や市の地域づくり組織との関わり・調整等の強化を図りながら、より多くの市民の地域づくり活動への参加・参画を促す取組が必要である。
122 市民公益活動	地域部	新しい公委託事業のあり方等これまでの取組検証に加え、市民公益活動と地域づくり活動の更なる連携・協働の拡大に向けた仕組みづくりが必要である。
212 自然環境	産業部	「人・農地プラン」の策定促進など農地保全に向けた更なる取組とともに、「みえ森と緑の県民税」を有効に活用した森林環境保全の具体的な取組を推進する必要がある。
221 省資源・省エネルギー	生活環境部	環境負荷低減や資源の有効活用について、市民の関心を高める啓発等の取組と、事業効果の分析結果等をも踏まえながら新エネルギーの導入促進や省エネルギー推進等の施策展開を図る必要がある。
314 水と緑のまちづくり	都市整備部	公園や街路樹、緑地等のあり方や維持管理について、地域づくり組織等が管理主体となって自らの提案が反映される管理・整備手法の構築、導入に向けた取組を進める必要がある。
351 都市産業	産業部	新たな産業の創出支援・育成など市内都市産業の活性化に向けた継続的な取組に加え、地域づくり組織等によるコミュニティビジネスを促進する取組を進めていく必要がある。
422 生涯スポーツ	教育委員会	生涯スポーツ社会の実現に向け、総合型スポーツクラブの再構築に向けた具体的な取組を進めていく必要がある。
432 文化資源	教育委員会	文化的な資産や観光開発につながる資産を潜在的に有していることから、地域づくり組織等との連携による複合的な事業展開や観光関係団体等との連携による具体的な取組が必要である。
433 文化交流	教育委員会	観阿弥創座の地、江戸川乱歩生誕地としての名張の文化の全国発信に積極的に取り組むとともに、関わりのある地域との歴史・文化を通じた交流を図る必要がある。

### 3. 各施策の主な取組概要（平成 25 年度）

#### 第 1 章 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし

人権の尊重を基本に捉えながら、市民活動や地域づくりと健康づくり、地域福祉の分野を結び、人々が相互に認めあい支えあう、心豊かで安心できる暮らしと地域社会の創造を目指します。

#### 第 1 節 人を大切にする社会の創造

##### 1. 人権尊重（生活環境部）

- 地域、学校、職場へ人権教育主事・社会同和教育指導員を派遣し、人権学習会の講師及び人権教育推進に関する指導助言等、人権教育・啓発を推進
- 「部落問題を考える小学生のつどい」、「中学校ヒューマンライツ」の取組により、市内小中学生が人権を通してつながるきっかけを提供
- 名張市人権センター、名張市人権・同和教育推進協議会が実施する人材育成事業の企画立案への参画及び支援実施

##### 2. 男女共同参画社会（生活環境部）

- 研修会を実施し、市職員の男女共同参画に関する意識と実践力の向上に向けた取組を推進
- 男女共同参画センターの認知度向上のため、「名張市男女共同参画 つうしん」の毎月発行・公民館等の配布を行い、地域への啓発を推進

#### 第 2 節 地域づくりと市民活動の促進-

##### 1. 地域づくり（地域部）

- 「名張ゆめづくり協働塾」を開設（平成 25 年度 5 回開催）し、まちづくり活動へ参画する人材の育成、地域づくり組織の組織力の充実に向けた取組を推進
- 15 地域で策定された「地域ビジョン」を尊重した市総合計画（地域別計画）を具現化する取組として、ゆめづくり地域交付金の交付や集会所補助金等の財政的支援を実施

##### 2. 市民公益活動（地域部）

- 市民活動支援センターを含む市民情報交流センターの管理運営団体を公募し、特定非営利活動法人が管理運営業務を実施
- 公共分野を市民活動団体が担う「新しい公」委託事業を 8 事業委託

##### 3. コミュニティの元気づくり（地域部）

- 「名張ゆめづくり協働塾」で、コミュニティビジネスと関連した講座を 2 回開催（延 220 名受講）
- コミュニティビジネスを視野に入れた「ゆめづくり協働事業」の実施

### 第3節 健康福祉ネットワークの構築

#### 1. 健康福祉ネットワーク（健康福祉部）

- まちの保健室を中心とし、民生委員や地域住民と協力・連携して要援護高齢者を見守る体制づくりを推進
- 有償ボランティアの取組について、平成26年度に向け新たに1地域で協議が整い、6地区で取組実施（うち3地区は移動支援も実施）

### 第4節 健康長寿のまちづくり

#### 1. 健康づくり（健康福祉部）

- 地域担当保健師が「まちの保健室」と連携し、地域づくり組織、公民館・市民センターと協働で、地域での健康づくり事業を実施
- 生活習慣病予防重点プロジェクトの推進に向け、予防講演会の地域開催、地域づくり組織と連携した特定健診・がん検診を実施
- 地域づくり組織と連携したワールドカフェ（まちじゅう元気!!教室）や介護予防教室等を実施

#### 2. 地域医療（健康福祉部）

- 伊賀地域の今後の医療提供体制検討のため、三重大学・三重県・両市長・3病院長等による意見交換会を開催
- 平成26年1月より24時間365日小児二次救急を行う「小児救急医療センター」を市立病院に開設

### 第5節 自立を支える地域福祉の充実

#### 1. 高齢者福祉（健康福祉部）

- 健康づくり教室や介護予防教室、認知症サポーター養成講座を地域づくり活動と一体的に実施
- 民生委員や地域住民とともに要援護高齢者の見守り支援を実施
- 地域の住民同士の支え合い・助け合いによる有償ボランティアの活動を支援

#### 2. 障害者福祉（健康福祉部）

- 市内団体や市民と障害者との交流を深める障害者スポーツ大会を開催
- 障害者虐待防止や養護者支援等の施策推進に向け、名張市共生地域デザイン会議（自立支援協議会）権利擁護部会で研修会や啓発事業を実施
- 障害者雇用に関し、名張市障害者人材センターの就労支援で13名、名張市共生地域デザイン会議（自立支援協議会）就労部会の事業所から7名が一般就労

#### 3. 子育て・子ども支援（子ども部）

- 「市町村子ども・子育て支援事業計画」策定に係る専門委員会の設置及びニーズ調査を実施
- 病児・病後児保育事業の平成26年4月開設に向け、県、医療法人、医師会等と協議実施
- 3歳未満児の待機児童の解消に向け、家庭的保育事業を平成25年8月に県内で初めて実施
- 0～18歳までの子どもの育ちと学びを総合的、継続的にサポートするため、平成25年4月に子ども発達支援センターと教育センターを併設した子どもセンターを開設

#### 4. 社会保障（健康福祉部）

- 地域での生活困難者の早期支援に向け、民生委員と連携
- 無料職業紹介所での就労支援として、平成25年度に1,358回の相談を行い、53名が就労

#### 5. 雇用（産業部）

- 企業の活性化や企業ニーズの把握に向け、市内企業約100社を訪問
- 県の緊急雇用創出補助事業について、商工会議所との説明会開催、市内事業者への働きかけ等により8事業者が採択（約20名の雇用）されるとともに、市においても36名を雇用
- 若者の就労支援に向け、いが若者サポートステーション名張サテライトと連携し個別就労相談に取り組み、16名の就職が決定
- ハローワークプラザ名張・マザーズコーナーと連携し、再就職準備セミナーを開催（子育て中の母親10名参加）

### 第2章 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし

豊かな自然との共生を基本に、自然環境の保全や持続可能な循環型社会の構築に取り組むとともに、農林業の振興、集落環境整備と一体的に農地や森林の多面的機能の活用を図り、身近に自然とふれあうことのできる潤いある暮らしと地域の創造を目指します。

#### 第1節 良好な地域環境づくり

##### 1. 環境保全（生活環境部）

- 市民団体等の美化活動への資材提供、環境学習の実施、広報啓発による取組を推進
- 名張クリーン大作戦、ごみゼロの日（5月30日）美化活動など、市民・事業者・行政の協働による美化活動を通じて、環境美化の意識を醸成
- あき地等所有者に対する適正管理について、指導・命令・行政代執行等条例に基づく取組を推進

##### 2. 自然環境（産業部）

- 滝之原小学校及び薦原小学校においてキジの放鳥を実施し、自然の大切さや鳥獣保護の啓発を実施
- 農村地域住民が協働で地域の農業用施設や地域環境保全活動を実施する「中山間地域等直接支払制度」や「農地・水保全管理支払制度」を推進

#### 第2節 循環型社会の創造

##### 1. 省資源・省エネルギー（生活環境部）

- 省資源・省エネルギーを基本としたエネルギー政策の基本的行動指針として「スマートシティなばりエネルギーアクションプラン」を策定

##### 2. ごみの減量化とリサイクル（生活環境部）

- 「第4次ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム」に基づき、市民・事業者・行政が協働し、3R（Reduce:リデュース、Reuse:リユース、Recycle:リサイクル）実践行動の取組を推進
- 不法投棄について、地域・警察・県・郵便局・河川管理事務所・ダム管理所等と連携して対策を実施

○ごみの減量化の成果継続により、平成25年10月より指定ごみ袋の価格引下げを実施

### 3. 廃棄物処理（伊賀南部環境衛生組合）

- クリーンセンターの年次的な点検・補修計画を立て、重点的な補修を実施
- 補助金要綱を制定し、資源ごみ（紙・繊維類）の地域での自主回収の取組を推進

## 第3節 新しい名張農業の振興と農山村の整備

### 1. 農村環境整備（産業部）

- 地域の農業の将来像を定める「人・農地プラン」の説明会を11か所で開催し、薦生・黒田の2地区と市全体の3プランを策定
- 伊賀米コシヒカリは3年連続食味ランキングで特Aを獲得、美旗メロンは地域団体商標を取得し、消費者の購買意欲向上に寄与
- 宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会での獣害防止柵の設置（平成25年度：18地区、約41Km）、サルを追い払うモンキードックの育成訓練を実施

### 2. 森林環境整備（産業部）

- 今後20年間の約61haの整備実施に向け、赤目溪谷内山林所有者と「環境林づくり協定」を締結
- 山林放置の間伐材の有効活用と森林保全に向け、未利用間伐材を木質バイオマス発電燃料として活用する際の搬出・運搬経費の助成事業を実施（8件、材積約22m<sup>3</sup>）
- 認定林業事業体との連携による間伐等の森林施業の集約化、間伐促進に向け森林所有者を対象に緊急間伐促進事業を実施

## 第3章 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし

生活環境と都市機能の充実を基本に、都市計画や防災・防犯、生活関連施設の整備、総合的な交通施策の推進、商工業や歴史文化資源を生かした観光などの都市産業の振興に取り組み、活力と魅力あふれ、安全で快適な暮らしとまちの創造を目指します。

## 第1節 魅力的な都市環境づくり

### 1. 土地利用（都市整備部）

- 用途地域等の見直し方針素案についてパブリックコメント募集を行うとともに、各地域づくり組織や関係団体への説明・懇談会を同時開催
- 良好な土地利用を図り、将来的にも適切な維持管理ができるよう十分な協議・指導を実施
- 「名張市地籍調査事業推進実施計画」に基づき、計画的な事業推進を実施

### 2. 都市環境（都市整備部）

- 名張市景観計画の策定に向け、各地域ビジョンの内容を景観の観点から分析し、景観まちづくりの基本的な方針やルールを定める（仮称）名張市景観計画事務素案の再検討を推進
- 景観まちづくり連続講座を継続した取組とするため、実施内容の検討や参加対象者の選定等、地域や学校及び関係機関との意見交換を実施

### 3. 市街地整備（都市整備部）

- 一般市有地販売の経験・情報を活用し、区画整理事業に伴う保留地を全て売却

### 4. 水と緑のまちづくり（都市整備部）

- 市内165箇所の公園で老朽化が著しい93箇所の公園内遊具について、平成25年度で更新完了
- 県河川をはじめ、市道の草刈、街路樹剪定、公園、緑地等の草刈、剪定作業等の地域委託を積極的に推進

## 第2節 安全で安心な地域づくり

### 1. 防災（企画財政部 危機管理担当）

- 多くの住民参加を目指し、各地域で実施される防災訓練の内容等について事前に各地域役員と協議し、その実施に当たって効果的な意識啓発を図るため、ボランティア組織である「みえ防災コーディネーター連絡会名張支部」と連携
- 各地域での防災訓練実施により、防災意識の高揚と自助・共助の必要性の認識が向上

### 2. 消防・救急（消防本部）

- 防火対象物等の計画的な立入検査の実施や訓練指導を行い、火災予防の取組を推進
- 署の業務体制の改編と出動隊員の確保について検討実施
- 指揮隊及び警防・救助活動に係る教育プログラムを平成26年度中に導入する方針を決定

### 3. 防犯（企画財政部 危機管理担当）

- 犯罪の未然防止に向け、防災ほっとメールによる振り込め詐欺・不審者情報等の情報提供・注意喚起を実施
- 教育委員会と青少年育成市民会議を核とした「名張少年サポートふれあい隊」により、市民主体の活動を展開
- 消費生活専門相談員を1名配置し、市消費生活協議会、地域づくり組織、名張警察署など13の機関・団体により「名張市消費者被害防止ネットワークプロジェクト」を組織し、市民と一体となった消費者被害対策の取組を推進

## 第3節 快適な生活環境づくり

### 1. 下水道等（上下水道部）

- 公共下水道事業、中央処理区第2期事業区域の766haについて、平成30年度を目途とする5カ年の事業延伸を取得
- 面整備については、平成25年度で名張市街地整備のほか、桔梗が丘第2・第3処理場区域及び桔梗が丘西1区域の接続移管により544haの整備終了（面整備率約71%）
- 桔梗が丘住宅団地の老朽管に対し、長寿命化対策を含めた改築更新事業の取組を推進
- 南部処理区について関係機関と協議し、対象6団地のうち百合が丘・南百合が丘・春日丘汚水処理場区域を平成26年4月から市が管理
- 比奈知地区農業集落排水事業について、実施設計及び地域住民説明会、関係機関との協議を経て工事を実施

## 2. 上水道（上下水道部）

- 施設の更新改良と耐震化、安全で安定した水の供給に向け、桜ヶ丘取水所電気設備更新工事、富貴ヶ丘浄水場送水ポンプ機械設備更新工事、桔梗が丘地内送配水管更新工事、配水池緊急遮断弁設置工事（国補事業）等を実施
- 水質検査計画を策定し適正に実施するとともに、ホームページで市民に公表

## 3. 住宅・住環境（都市整備部）

- 耐用年数を超過し耐震性を欠く市営住宅の6団地24戸の用途廃止をこれまでにを行うとともに、平成23年度から3か年で3棟28戸の住宅を「既存借上型市営住宅制度」により整備を実施
- 指定道路台帳整備業務委託による道路調査資料により判定作業を実施

## 4. 斎場・墓地（生活環境部）

- 東山墓園・斎場ともに、適切な維持管理を実施
- 年2回（6月・11月）墓所貸付事務を推進（東山墓園墓所貸付率：97.1%）

### 第4節 総合的な交通対策の推進

#### 1. 交通対策（都市整備部）

- 市街地循環バス「ナッキー号」、国津「あららぎ号」の運行継続とともに、交通空白地・交通不便地の6地域のうち、赤目地域を除く5地域でコミュニティバスの運行支援を実施
- 生活安全推進協議会交通安全部会による年間を通じた啓発活動に加え、市内小中学校への交通安全に係る講習会を実施

#### 2. 道路整備（都市整備部）

- 広域幹線道路については、国道368号の上長瀬工区と伊賀名張工区の整備促進とともに、県道上笠間八幡名張線の道路改良についても一定の成果を達成
- 市道整備のうち、継続事業は計画に沿った整備推進、新規事業は翌年度以降の事業着手に向け測量設計を実施し、通学路の安全対策については、一部工事に着手
- 計画的な道路舗装補修について、主要幹線道路3路線の整備に取り組み、2路線が完了

### 第5節 都市産業の振興

#### 1. 都市産業（産業部）

- 国のものづくり補助金で6社、先端設備投資補助金で6社、県のコミュニティ応援ファンド助成金で4社が採択を受け、事業を実施
- 新たなオリジナル商品開発に対する支援を行い、市内5事業者が新商品を発売
- 近畿大学工業高等専門学校と市内企業の共同研究に対する支援を行い、5件の共同研究を実施
- 若手事業者育成のため、商工会議所青年部と連携し、若者後継者育成事業を実施

#### 2. 観光（産業部）

- エコツーリズムの推進について、関係者と効果的な仕組みづくりについて協議を行い、エコツーリズム推進法に基づく認定を目指した取組を推進

- 官民一体となったまちおこしへの取組として、全国からご当地グルメ団体を名張に招致し、「圏際・食彩・文化祭～ご当地グルメでまちおこし in 名張～」を実施
- 伊賀流忍者推進協議会では、伊賀流忍者を内外に発信していくためのロゴマークや忍者衣装製作を行い、首都圏や関西圏でPRイベントを実施

## 第4章 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし

心豊かな人づくりを基本に、生きる力を育むための学校教育、楽しく学び自己実現を可能にする生涯学習の充実、魅力ある新しい名張文化の創造などによって、生きがいとゆとりに満ちた暮らしの実現を目指します。

### 第1節 生きる力をはぐくむ教育の充実

#### 1. 学校教育（教育委員会）

- 国・県調査に加え、市単独で実施学年を変えて学力調査・新体力テストを実施し、結果分析をもとに研究・研修を深め指導方法の改善を図るとともに、学力・体力向上の取組成果について実践交流会等で情報交換を実施
- 特別な支援が必要な児童生徒に有効な支援を行うため、各校において「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」を作成し途切れのない支援を実施するとともに、支援の一層の充実に向け、パーソナルカルテを作成
- 市内全児童生徒に対して学級満足度調査を実施し、いじめ・不登校の未然防止・早期発見や学級の状況を把握して改善していく取組を継続して実施
- 規模・配置の適正化実施計画に基づき、平成26年3月に錦生・滝之原・国津の3小学校を統合

#### 2. 青少年健全育成（教育委員会）

- 青少年の健全育成に向け、市民団体・社会教育団体・学校・地域等が連携を図り青少年育成市民会議を中心とした街頭パトロールの実施や、子どもの様々な体験を通じて学び交流し健全育成を図る「なんでも体験団」の実施、指導者研修会や教育フォーラムを実施

### 第2節 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進

#### 1. 生涯学習（教育委員会）

- 皇學館大学や各地区公民館と連携した「なばり人養成塾（全10回）」を開催（受講生：92名、6回以上出席の修了生54名）

#### 2. 生涯スポーツ（教育委員会）

- 指定管理者の管理状況等の的確な把握とともに、修理・修繕必要箇所の早期発見、事故未然防止に向けた情報共有のための連絡調整会議や安全確保のための協議を定期的実施
- 各種大会等について、フェイスブックの活用やスポーツ推進委員によるチラシ配布など、多様な手法を取り入れた情報発信の取組を実施
- 総合体育館及び勤労者福祉会館の耐震改修工事の実施

## 第3節 市民文化の創造

### 1. 市民文化（教育委員会）

- 能文化の振興に向け、観阿弥祭にあわせた「名張能楽祭」を開催
- 市美術展について、高校生の出展料無料など出展数増加に向けた取組を推進
- 各地域の地域ビジョンに掲げる文化資源の活用に向け、案内板やマップの作成などを地域と協働した取組を推進

### 2. 文化資源（教育委員会）

- 埋蔵文化財活用について、小学校閉校に伴う跡地活用と新しい文化拠点の施設整備を検討
- 文化資源の活用として、市民団体と協働し、夏見廃寺展示館で「万葉の宴」を開催
- 特別天然記念物であるオオサンショウウオの保護のため、国・県補助を活用し緊急調査事業を実施

### 3. 文化交流（教育委員会）

- 伝統文化を通じた友好を深めるため、文化交流都市協定締結10周年を記念し、東京都豊島区の「民族芸能 in としま」に名張こども狂言の会が参加
- 「アジア太平洋青少年環境フォーラム（韓国水原市開催）」に中学生4名を派遣し、国際理解と文化交流を推進
- スポーツ少年団による中国蘇州市とのスポーツ交流事業、名張ユネスコ協会による韓国京畿道ユネスコ協会との文化交流事業を協働して実施

## 第5章 新しい時代を拓く、自立と協働による地域経営

厳しい行財政環境が今後も続くことが予想されるなか、自立・協働・効率を基本に、市民と協働してまちづくりに取り組むとともに、市民の満足度を重視した質の高い行政サービスの提供や、徹底した行財政改革に取り組むことによって、持続可能な市政運営を進めます。

## 第1節 協働のまちづくり

### 1. 地域自治（地域部）

- 名張市総合計画（地域別計画編）の実現に向け、「ゆめづくり協働事業」で23事業を実施

### 2. 開かれた市政（企画財政部）

- 広報なばりの発行、FMなばりへの行政情報の提供のほか、名張市公式 Facebook で若者や市外へ情報発信
- 市民参画の広報紙づくりに向け、市民公募による広報特派員の選任や広報メールサポーター制度の取組を実施
- 地域づくり組織によるまちづくりの取組を「まちづくり仕掛人」として広報に掲載

## 第2節 市民志向のサービス提供

### 1. 質の高いサービス（企画財政部）

- 市民相談における弁護士相談希望者が増加傾向にあるため、相談機会を拡大（平成25年度より16人/月→20人/月）
- 住民基本台帳法改正対応作業の実施、戸籍副本管理システムの稼働など、効率的な行政情報システムの取組を推進

### 2. 地域情報化（総務部）

- 情報セキュリティに配慮し、ホームページの多面的活用、防災緊急通報等を提供
- 地域における情報交流の促進に向け、地域づくり組織のホームページ容量等を拡充

## 第3節 持続可能な市政運営

### 1. 戦略的な都市経営（企画財政部）

- 戦略的かつ重点的な施策展開に向け、予算編成方針において重点取組施策（名張躍進プロジェクト）を明確にし、予算の重点配分を実施
- 事務事業評価について、シート様式の簡素化に加え、施策達成に向けた貢献度評価の項目を追加し、総合計画の推進と事務事業の関連付けの強化を図るとともに、行政評価結果を活用した施策別枠配分方式による予算編成を実施

### 2. 効果・効率的な市政（企画財政部）

- 効果・効率的な事務執行体制の確立を図るため、今後の職員の退職状況や年齢構成等を踏まえたシミュレーションを実施し、今後5年間（平成26～30年度）の組織・機構見直し方針を策定
- 財政調整基金の枯渇や市税収入・交付税の大幅な増収が期待できない中、成熟社会に対応できる自立した自治体として持続可能な行政運営の確立を図るため、今後の行財政運営の確立に向けた取組に係る計画素案を策定

### 3. 持続可能な財政運営（企画財政部）

- 地方公務員給与費の臨時特例措置を受け、平成25年度普通交付税（給与関係経費）の大幅削減により、平成25年7月～平成26年3月の間、交付税削減相当額について、職員等の給与を削減
- 滞納者減少に向け、電話催告並びに催告事務に必要な財産調査等の強化を図るとともに、エルタックス（地方税の電子申告）による申請件数を更に伸ばすための広報啓発を積極的に推進

## 第4節 広域連携の推進

### 1. 広域連携（企画財政部）

- 伊賀ブロック消防広域化の取組は、運営計画策定委員会の企画財政部会を開催（平成25年10月）し、広域化に向けた議論を継続
- 名張市立病院において、平成26年1月から24時間365日の小児二次救急を行う「小児救急医療センター」を開設
- 伊勢丹新宿店において、赤目四十八滝溪谷保勝会により簡易版の忍者修行体験を期間限定で実施（平成26年3月）し、伊賀流忍者のPRを実施

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
<b>第1章 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし</b>						
<b>第1節 人を大切にする社会の創造</b>						
111	人権尊重	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために、自らが出来ることを考え取り組みたいと思っている市民の割合	%	64.0	68.0	64.6
		地域づくり組織等が主催する人権学習会の開催数【延べ値】	回	83	680	649
		人権啓発まちづくりリーダー養成講座受講者数【延べ値】	人	21	210	383
		人権・同和問題企業研修会の参加企業（事業所）数【延べ値】	社	130	1,040	578
		隣保館で開催される講座等の参加者数【延べ値】	人	1,970	16,470	15,048
		人権センターが主催する各種事業の参加者数【延べ値】	人	302	2,480	3,340
112	男女共同参画社会	男女の固定的な役割分担に同感しないという市民の割合	%	73.6	76.0	77.0
		男女共同参画基本計画に掲げる数値目標の達成状況	%	65.8	100.0	93.9
		審議会等への女性登用率	%	27.6	45.0	22.8
		妊婦健康診査受診率	%	86.4	93.0	96.1
<b>第2節 地域づくりと市民活動の促進</b>						
121	地域づくり	地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことがある市民の割合	%	71.0	76.0	54.8
		隣近所や地域の人の交流があると感じている市民の割合	%	71.5	77.0	71.6
		地域づくり協議会実践交流会に参加して、住民主体のまちづくりの必要性を認識できた参加者の割合	%	76.6	82.0	100 ※
122	市民公益活動	NPOやボランティア等の市民公益活動に参加したことがある市民の割合	%	28.3	32.0	24.9
		「名張市市民活動支援センター」のサイトに登録している市民公益活動団体等の数	団体	42	120	59
123	コミュニティの元気づくり	「新しい公」をめざして、地域や市民活動団体(NPO)が担った市の事務事業数(指定管理含む)【延べ値】	件	9	179	133 ※
		地域づくり協議会実践交流会に参加して、住民主体のまちづくりの必要性を認識できた参加者の割合	%	76.6	82.0	100 ※
		地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことがある市民の割合	%	71.0	76.0	55
<b>第3節 健康福祉ネットワークの構築</b>						
131	健康福祉ネットワーク	保健福祉サービスにかかる市の情報提供や相談体制を評価している市民の割合	%	52.7	57.0	64.1
		ボランティア登録人数	人	2,566	3,260	3,486
		ボランティアコーディネーター養成数【延べ値】	人	4	11	7
		まちな保健室における相談件数【延べ値】	件	16,738	193,500	111,942
		ユニバーサルデザインアドバイザー数【延べ値】	人	48	55	50
<b>第4節 健康長寿のまちづくり</b>						
141	健康づくり	健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合	%	80.5	85.0	81.4
		胃がん検診受診率(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	6.02	15.00	14.5
		乳がん検診受診率(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	5.07	20.00	17.3
		特定健康診査受診率(国民健康保険)(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	25.2	50.0	35.3
		特定保健指導実施率(国民健康保険)(国の指針等の見直しに伴い目標値変更)	%	11.6	50.0	15.5

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
	内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率	%	26.6	23.9	-	
142 地域医療	かかりつけ医を決めている人の割合	%	77.4	85.0	78.7	
	地域医療体制に満足している市民の割合	%	29.4	33.0	48.0	
	一月あたりの地域医療機関等から市立病院への紹介件数	件	328	500	480	
	一月あたりの市立病院から地域医療機関等への紹介件数	件	252	380	314	
<b>第5節 自立を支える地域福祉の充実</b>						
151 高齢者福祉	生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合	%	76.2	79.0	77.9	
	地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことのある65歳以上の市民の割合	%	76.6	80.0	64.7	
	目的を持って生涯学習に取り組んでいる65歳以上の市民の割合	%	47.8	51.0	51.3	
	週に1回以上スポーツに親しんでいる65歳以上の市民の割合	%	45.8	49.0	51.8	
	中重度の要介護認定者の割合	%	9.10	9.00	9.8	
152 障害者福祉	障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合	%	51.5	58.0	54.9	
	グループホーム等において、地域で自立した生活をしている障害者数【延べ値】	人	43	168	67	
	一般就労への移行に向けて支援を行った障害者数【延べ値】	人	4	32	36	
	一般就労へ移行した障害者数【延べ値】	人	7	56	53	
	手話通訳奉仕員養成講座の受講者数【延べ値】	人	8	148	55	
153 子育て・子ども支援	一月あたりの乳幼児医療費助成の件数	件	3,510	3,100	7,823	
	ファミリー・サポート・センター事業の会員数	人	276	375	220	
	地域子育て支援事業における相談件数【延べ値】	件	1,800	15,600	9,215	
	子育て広場参加者数【延べ値】	人	38,772	329,500	250,015	
	市立保育所のうち、運営を民間委託または民営化した園数	園	2	14	10	
	ブック・スタートのサービスをきっかけに絵本の読み聞かせを家庭でも実践している人の割合	%	93.9	96.0	90.7	
	放課後児童クラブを利用する特別支援児童の数【延べ値】	人	13	109	79	
	市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口等の子育て支援に満足している割合	%	-	60.0	59.8	
154 社会保障	保護廃止世帯における自立率	%	53.3	58.0	58.6	
	市等が運営する国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療制度が適切に運営されていると感じる市民の割合	%	50.1	53.0	61.0	
	生活保護世帯のうち、世帯主や世帯員が働きながら保護を受けている世帯の割合	%	62.5	68.0	48.2	
	三重県平均を100%とした場合の国民健康保険被保険者一人あたりの医療費	%	97.1	96.5	105.6	
	国民健康保険税の収納率（現年）	%	90.1	92.3	93.6	
155 雇用	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合	%	17.3	21.0	26.6	
	若者の就業率	%	76.6	80.0	77.8	
	高齢者の就業率	%	28.2	30.0	30.7	
	就労セミナーの参加者数【延べ値】	人	22	200	105	

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
	障害者法定雇用率達成企業数【延べ値】	社	12	16	11	
<b>第2章 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし</b>						
<b>第1節 良好な地域環境づくり</b>						
211 環境保全	環境保全活動に参加したことの市民の割合	%	70.5	77.0	62.0	
	エコポイント事業に取り組む店舗・事業所の登録数	店	58	65	-	※
	BOD値 シャックリ川町田橋（年平均）	mg/リットル	3.0	2.5	2.3	※
	地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で行う美化活動の参加者数【延べ値】	人	3,600	29,880	28,279	
212 自然環境	身近な自然環境（田園や里山、森林等を含む）の保全や適正な管理・活用に関心のある市民の割合	%	73.2	77.0	70	
	市民農園の利用が、地域住民との交流のきっかけになったと答えた人の割合	%	18.0	22.0	-	※
	水田を活用した景観作物の植栽面積【延べ値】	ha	2.5	3.1	3.0	※
<b>第2節 循環型社会の創造</b>						
221 省資源・省エネルギー	日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合	%	93.1	99.0	87	
	市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量（2009年～法改正に伴い目標値の変更、現状値は2009（H21）年度値）	t	11,771	11,065	12,084	
	環境マネジメントシステム導入事業所数	社	16	20	14	
	太陽光発電による市内の年間発電量	kw/h	912,000	1,403,000	7,765,000	
222 ごみの減量化とリサイクル	一人一日あたりのごみ排出量	g	1,006.4	942.0	891.0	
	家庭から排出される一人一日あたり燃やすごみの量	g	364.7	321.0	358.0	
	家庭から排出される一人一日あたり燃やさないごみの量	g	37.6	36.5	37.0	
	ごみのリサイクル率	%	27.3	31.5	32.0	
	ごみの減量・分別・資源化を実施している市民の割合	%	-	94.0	93.8	
223 廃棄物処理	市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じている市民の割合	%	69.4	74.0	82.9	
	ごみの減量化・再資源化に対する認識が高まったと感じたリサイクルプラザ利用者の割合	%	73.1	83.0	80.6	
<b>第3節 新しい名張農業の振興と農山村の整備</b>						
231 農村環境整備	市内産の農作物を積極的に購入している市民の割合	%	64.3	69.0	62.8	
	農業経営体（認定農業者数）の数【延べ値】	人	43	65	49	
	新規就農（業）者数【延べ値】	人	3	7	33	
	認定農業者等の農地利用集積率	%	3.3	5.3	4.2	
	農産物の「地産地消」に取り組むグループの数【延べ値】	グループ	7	11	9	
	園芸福祉市民講座の受講者数【延べ値】	人	253	293	835	
	市民農園の利用が、地域住民との交流のきっかけになったと答えた人の割合	%	18.0	22.0	-	※
	水田を活用した景観作物の植栽面積【延べ値】	ha	2.5	3.1	3.0	※
232 森林環境整備	環境林の整備面積及び間伐等の森林施業面積【延べ値】	ha	46.3	130.0	107.6	
	下刈り、枝打ち、間伐等の森林施業面積（環境林を除く）【延べ値】	ha	194.7	552.6	383.4	

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
	森林環境が適切に保全されていると感じる市民の割合	%	-	48.0	50.5	
<b>第3章 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし</b>						
<b>第1節 魅力的な都市環境づくり</b>						
311 土地利用	秩序ある土地利用が行われていると感じる市民の割合	%	47.5	53.0	52.6	
	都市計画法や都市計画制度などにかかる市民へのPR回数【延べ値】	回	8	113	82	※
312 都市環境	自分が住む地域におけるまち並みなど景観や環境が良好であると感じる市民の割合	%	65.5	72.0	75.1	
	都市計画法や都市計画制度などにかかる市民へのPR回数【延べ値】	回	8	113	82	※
	景観形成をテーマとするフォーラム等への参加人数【延べ値】	人	-	600	180	
313 市街地整備	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	63.0	49.4	
	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	%	36.0	41.0	77.0	
	やなせ宿の入館者数【延べ値】	人	17,000	136,500	113,800	
	希中央の宅地化率	%	67.5	94.0	80.8	
314 水と緑のまちづくり	水辺や緑とのふれあいに満足している市民の割合	%	70.8	77.0	74.0	
	市内の公園のうち、地域づくり組織が維持管理をしている割合	%	79.9	85.0	81.8	
	観光入込客数（赤目滝）	人	193,000	265,000	164,340	※
	地域づくり組織等による地域緑化活動の件数【延べ値】	件	4	37	18	
<b>第2節 安全で安心な地域づくり</b>						
321 防災	地震等の災害への備えをしている市民の割合	%	35.7	41.0	40.0	
	自主防災隊などリーダー研修の受講者数【延べ値】	人	705	5,640	7,477	
	防災訓練を実施した地区数【延べ値】	地区	105	865	839	
	災害時における生活必需物資の供給応援協定締結数【延べ値】	団体	9	11	11	
322 消防・救急	3ヵ年の平均出火率	件	3.11	3.00	2.73	
	高齢者等の世帯への防火訪問指導件数【延べ値】	件	850	8,200	1,220	
	自主防災組織等への指導件数【延べ値】	件	45	396	167	
	応急手当講習会受講者数【延べ値】	人	30,795	73,000	48,935	
	救急救助体制が充実していると感じる市民の割合	%	-	48.0	54.3	
323 防犯	犯罪に対して不安感を持っている市民の割合	%	56.9	49.0	48.5	
	刑法犯認知件数	件	899	726	592	
	初発型非行数	件	77	60	28	※
	市広報への消費生活に関する啓発情報の掲載【延べ値】	回	5	47	37	
<b>第3節 快適な生活環境づくり</b>						
331 下水道等	汚水衛生処理率	%	91.5	96.0	95.1	※
	公共下水道を利用できる市民の割合（人口普及率）	%	15.8	33.0	26.1	

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
	公共下水道に接続している人口	人	11,344	26,860	20,273	
	農業集落排水施設を利用できる市民の割合（人口普及率）	%	8.9	12.0	9.5	
	農業集落排水施設に接続している人口	人	6,539	9,500	7,512	
	BOD値 シャックリ川町田橋（年平均）	mg/ℓ	3.0	2.5	2.3	※
	生活排水を適切に処理する環境が整備されていると感じる市民の割合	%	-	76.0	73.1	
332	上水道					
	水道サービスの質と料金に満足している市民の割合	%	53.7	59.0	54.2	
	老朽管改良率	%	1.7	3.0	3.2	
	汚水衛生処理率	%	91.5	96.0	95.1	※
	総収支比率	%	100.3	95.0	92.1	
333	住宅・住環境					
	安心して暮らし続けることができる住環境にあると感じている市民の割合	%	58.9	65.0	67.6	
	木造住宅の耐震診断受診率	%	0.6	0.8	0.6	
	都市計画法や都市計画制度などにかかる市民へのPR回数【延べ値】	回	8	113	82	※
334	斎場・墓地					
	先祖を追想できる適切な環境が整備されていると感じる市民の割合	%	47.1	53.0	51.5	
	東山墓園墓所貸付率	%	84.9	100.0	97.1	
<b>第4節 総合的な交通対策の推進</b>						
341	交通対策					
	公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合	%	39.4	43.0	43.7	
	交通人身事故の発生件数	件	432	390	338	※
	放置自転車等の台数（年間）	台	209	188	65	
	コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数	人	185	203	193	
342	道路整備					
	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%	47.5	51.0	49	
	地域づくり組織等が主体となって、道路等の維持管理に携わっている個所数【延べ値】	個所	81	734	490	
	交通人身事故の発生件数	件	432	390	338	※
<b>第5節 都市産業の振興</b>						
351	都市産業					
	市内総生産	億円	2,431	2,516	2,292	
	年間商品販売額	億円	919	930	919	
	商工会議所の会員数	社	1,160	1,200	1,157	
	年間製造品出荷額等	億円	2,498	2,700	2,210	
	エコポイント事業に取り組む店舗・事業所の登録数	店	58	65	-	※
	買物や食事などの日常生活の利便性に満足している市民の割合	%	-	70.0	67.3	
352	観光					
	観光入込客数（市全体）	人	297,000	482,000	1,248,622	
	観光入込客数（赤目滝）	人	193,000	265,000	164,340	※
	観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数	件	410	670	363	
	東大和西三重観光連盟ホームページへの1日平均アクセス件数	件	20	28	50	

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
	名張市の物産や観光地が全国に向けてPR（情報発信）されていると感じる市民の割合	%	-	30.0	30.2	
<b>第4章 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし</b>						
<b>第1節 生きる力をはぐくむ教育の充実</b>						
411	学校教育					
	小・中学校の教育環境に満足している市民の割合	%	59.2	65.0	60.8	
	学校に満足している児童生徒の割合	%	88.1	92.0	89.5	
	不登校児童生徒の割合	%	1.5	1.1	1.1	
	支援の結果、登校できるようになった児童生徒の割合	%	15.0	26.0	35.7	
	特別支援教育にかかる個別の指導計画を作成している児童生徒の割合	%	27.0	50.0	99.0	
412	青少年健全育成					
	初発型非行数	件	77	60	28	※
	青少年ボランティア数	人	47	56	61	
	放課後子ども教室実施回数【延べ値】	回	22	1,100	354	
	青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感じる市民の割合	%	-	45.0	46.8	
<b>第2節 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進</b>						
421	生涯学習					
	目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	42.3	49.0	42.8	
	公民館のサービスに満足している利用者の割合	%	66.9	77.0	94.8	
	市民 1人あたりの年間公民館利用回数	回	3.1	3.8	3.4	
	市民 1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	6.1	6.8	6.6	
	年度内に図書の貸出を利用した市民の割合	%	15.6	17.0	14.8	
	公民館における家庭教育講座の講座数【延べ値】	講座	10	96	68	
	高等教育機関と共同実施した事業数【延べ値】	件	0	15	8	
422	生涯スポーツ					
	週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合	%	36.5	43.0	39.3	
	スポーツリーダーバンク利用回数【延べ値】	回	15	260	45	
	市民1人あたりの年間体育施設利用回数	回	5.0	6.0	4.1	
<b>第3節 市民文化の創造</b>						
431	市民文化					
	1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことのある市民の割合	%	49.6	54.0	52.2	
	美術展覧会出展数【延べ値】	点	230	1,892	1,384	
	青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の入場利用者数【延べ値】	人	44,288	360,000	247,228	
432	文化資源					
	名張の歴史を知っている市民の割合（歴史テスト認知率）	%	38.4	43.0	30.8	
	夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数【延べ値】	人	497	6,700	1,756	
	歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合	%	71.0	73.0	71.0	
433	文化交流					
	名張の文化を広く市外に発信したいと考える市民の割合	%	55.5	60.0	61.3	
	指差し会話集の数【延べ値】	件	13	20	13	
<b>第5章 新しい時代を拓く、自立と協働による地域経営</b>						

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策	指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
<b>第1節 協働のまちづくり</b>						
511 地域自治	「新しい公」を知っている市民の割合	%	6.6	17.0	8.7	
	公募委員の在籍する審議会等の割合	%	11.7	18.0	8.5	
	「新しい公」をめざして、地域や市民活動団体(NPO)が担った市の事務事業数(指定管理含む)【延べ値】	件	9	179	133	※
	地域づくり協議会実践交流会に参加して、住民主体のまちづくりの必要性を認識できた参加者の割合	%	76.6	82.0	100	※
	「新しい公」の取り組みを大いに進めるべきであると考え る市民の割合	%	-	25.0	17.5	
512 開かれた市政	市民の声を行政に届ける体制が整備されていると感じる市民の割合	%	70.6	73.0	70.0	
	公文書や個人情報の開示決定における開示・非開示判断の適正度	%	33.3	50.0	68.1	
	市民の声の受付件数【延べ値】	件	365	3,025	2,189	
	報道機関への情報提供件数【延べ値】	件	775	6,345	4,780	
	市ホームページへの1日平均アクセス件数	件	1,599	1,660	2,359	
<b>第2節 市民志向のサービス提供</b>						
521 質の高いサービス	行政サービスの質が良くなってきていると感じる市民の割合	%	53.3	57.0	57.0	
	考査制度による事業見直し件数【延べ値】	件	147	320	206	※
	総合窓口において、スムーズに手続きを行うことができた と思う市民の割合(隔年実施)	%	85.0	90.0	96.5	
	総合窓口化した業務数【延べ値】	件	8	12	7	
	住民基本台帳カードの交付率	%	4.9	20.0	22.2	
	庁内電子決裁率	%	61.2	80.0	97.6	
	情報セキュリティ研修を受講修了した職員の割合	%	10.0	50.0	72.5	
522 地域情報化	パソコンや携帯電話を利用して、日々の生活に必要な情報を入手している市民の割合	%	54.3	59.0	62.6	
	行政情報チャンネルの視聴が可能な世帯の割合	%	55.0	60.0	59.0	
	安心してITを使うことができるように情報提供を行った件数【延べ値】	件	-	24	7	
<b>第3節 持続可能な市政運営</b>						
531 戦略的な都市経営	「理想郷プラン」後期基本計画の数値目標(2015年度)の達成状況	%	-	100.0	57.6	
	考査制度による事業見直し件数【延べ値】	件	147	320	206	※
	市の組織機構が、分かりやすく、利用しやすいと感じている市民の割合	%	27.7	34.0	52.3	
532 効果・効率的な市政	効率的な市政運営に向けた取組が行われていると感じる市民の割合	%	39.2	43.0	46.2	
	考査制度による事業見直し件数【延べ値】	件	147	320	206	※
	指定管理者制度等を活用した公共施設において、当該施設のサービスに満足している利用者の割合	%	85.0	89.0	90.4	
	未利用公共用地の売却件数【延べ値】	件	5	17	25	
533 持続可能な財政運営	経常収支比率	%	95.8	98.6	98.6	
	実質公債費比率	%	15.7	15.8	17.0	
	市税の収納率	%	97.69	98.10	98.79	

名張市総合計画「理想郷プラン」 後期基本計画施策指標一覧

施策		指標	単位	現状値 2008 (H20)	目標値 2015 (H27)	実績値 2013 (H25)	備考
		未利用地の有効利用による効果額【延べ値】	千円	52,397	536,000	1,152,188	
		受益者負担の原則に基づき使用料や手数料などが適正であると考える市民の割合	%	-	55.0	51.7	
541	広域連携	名張市周辺の市町村の公共施設（教養・文化・レクリエーション施設・温泉施設等）を利用した市民の割合	%	64.2	68.0	68.8	
		伊賀圏域において共同処理している事業数【延べ値】	件	4	5	4	
		環境や防災など近隣市町村等と共同で取り組むことが効果的な分野で、連携が行われている件数【延べ値】	件	12	16	14	
		地域間交流による文化・物産等の共同事業への参加回数【延べ値】	回	8	69	86	
		伊賀市をはじめ広域的な交流活動が活発に行われていると感じる市民の割合	%	-	40.0	38.0	

※印・・・施策間の共通指標